



第 88 号

平成 24 年 3 月 31 日

発行

本荘由利森林組合

由利本荘市水林 381

TEL 0184 24 4141(代)

FAX 0184 24 4143

木材流通センター 由利本荘市西目町沼田字新道下 1019 1 製材工場『木香里』 由利本荘市西目町沼田字新道下 1020 1  
TEL0184 32 1088 FAX0184 32 1089 TEL0184 32 1080 FAX0184 32 1081

HP <http://www.honmori.com/> メール [honmori@trad.ocn.ne.jp](mailto:honmori@trad.ocn.ne.jp)



**K Y T (危険予知訓練) 講習会**

平成 24 年 2 月 14 日 西目シーガル

# 第17回造林コンクール 表彰授与式・林業講演会開催

二月二十三日、「本荘グランドホテル」に於いて第十七回造林コンクール表彰授与式及び林業講演会を開催しました。

小松組合長挨拶の後、由利地域振興局長（代理菊地正隆農林部長）、由利本荘市長（代理藤原由美子副市長）、佐藤重芳県森連会長より祝辞を頂きました。続いて表彰授与式、櫻田森づくり推進課長より審査講評が行われました。

今回のコンクールには幼齢林の部、枝打ちの部、保育間伐の部、収穫間伐の部、育天の部、五部門に十八名十九件の申し込みがあり、審査の結果、八名が受賞されました。



組合長あいさつ



表彰授与式



受賞者各位

## 受賞者紹介

### 幼齢林の部

奨励賞 佐々木 博 氏（矢島地区）

### 枝打ちの部

1 位 鈴木 喜久男 氏（由利地区）  
 2 位 松永 豊 氏（大内地区）  
 3 位 本多 久平 氏（鳥海地区）  
 3 位 小嶋 宏 氏（大内地区）

### 収穫間伐の部

1 位 渡部 禄郎 氏（仁賀保地区）  
 2 位 佐々木 義美 氏（岩城地区）  
 3 位 佐藤 孝一 氏（大内地区）

## 林業講演会

東京大学大学院農学生命科学研究科教授、五十嵐泰夫氏を講師にお招きして、「身近なバイオマス資源を有効に使う地域と地球のために」を演題にご講演いただきました。

バイオマスとは何か、何ができるのかの説明と、世界での実際の活用例などを交えながら、秋田県の林業と木材利用による木質バイオマスの取り組みに期待して注目していると述べられました。



五十嵐泰夫教授



# 地区座談会

二月六日から四力所で、今年度の地区座談会を開催しました。組合長、役員のほか、参事・課長、由利地域振興局森づくり推進課、市・総合支所から職員が出席し、組合の現況と取り組み、事業の説明の後、質疑応答が行われました。

## 質疑応答

Q、外資系企業による森林の買収の話を聞くが、秋田県内でもあるのか。

A、県内で取引があったとは聞いていない。  
(仁賀保地区)



Q、路網整備が遅れているので推進していただきたい。また、整備した路網の降雨による被害が大きい。側溝を作るなど改善するにはどこに申請すればよいか。

A、にかほ市にも支援交付金事業があり、森林組合で対応できます。  
(仁賀保地区)



Q、事業進捗状況では、加工部門が極めて低いが、今後どのように運営していくのか。

A、今年から大型製材所も稼働する。競争しても駄目だろう。借入金は無くなったので、今後については理事会、事業委員会等

で検討していく。

(岩城・大内地区)



Q、森林経営計画を立てなければ補助対象とならないというが、どうすればよいか。ナラ枯れについて補助的な事業はないのか。

A、森林施策計画が終わる五月末までは、植栽・雪起こし事業が可能だが、六月以降の下刈りにについては経営計画を策定してからの施策となる。組合では下刈箇所を優先に団地設定する予定だが、団地内で五年間で必ず搬出間伐を実施しなければならぬ下限の面積があるので、関係者と協力しながら進める。

ナラ枯れ対策には、県の広葉樹フロンティア事業がある。組合ではこの事業で今年度10haを予算計上して進めている。主に運賃の助成で、組合との経営委託契約が原則だが、特記事項に保育作業を自分で行う旨を記載

すれば代理申請ができる。

(本荘・東由利地区)

Q、境界の明確化について地籍の確定状況はどうなのか。  
A、現在、本荘では石沢地区を調査しているようだ。他の市町村は終了している。

(本荘・東由利地区)

Q、県内に大型製材所ができるが、影響はどうか。

A、オープンには六月、七月頃の予定である。木材消費量は約15万<sup>3</sup>mを目標とし、由利管内からも1万<sup>3</sup>m、2万<sup>3</sup>mが出ていくと思われる。  
(本荘・東由利地区)

## 座談会参加者数

2月6日(月)	仁賀保地区	
	「むらすぎ荘」	組合員35名
2月7日(火)	矢島・由利・鳥海地区	
	「日新館」	組合員82名
2月8日(水)	岩城・大内地区	
	「メープル」	組合員62名
2月10日(金)	本荘・東由利地区	
	「ウッディこだま」	組合員80名

# 全国の9団体に本荘由利森林組合が選ばれました！

（第七回農林中金森林再生基金事業）

農林中央金庫では、創立80周年を記念し、平成17年度から民有林の森林再生事業に対し支援しており、これまで、全国で28団体が選定されています。

当組合では、平成23年度の第七回事業に応募していましたが、昨年夏からの一次、現地、二次の各審査を経て、この度、全国の9団体の一つとして、当組合も採択されました。東北では、四つ目の森林組合となります。

事業対象地は、鳥海町猿倉地区の約154haの共有林で、60～65年生のスギ人工林とブナを主体とした広葉樹林から成る里山林で、中央には、地域の水田を潤すかんがい用ため池があります。しかしながら、県内でも有数の多雪地帯であるほか、対象地の一部林分が補助対象外の林齢に達していたことなどから手入れが行き届かない状況にあり、森林の荒廃が進み、危急な対応が必要となっています。

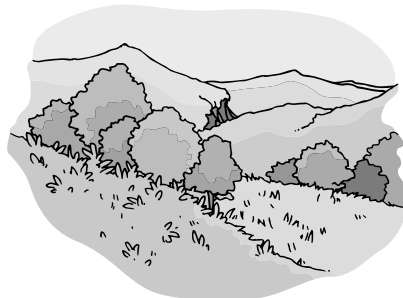
当該事業では、団地内の森林を目的別に生産林や環境林に機能区分し、区分ごとの施業方針を定めるとともに、方針に基づき、スギ人工林の搬出間伐や広葉樹林の択伐及び除伐のほか、ha当り170m程度の高密な作業路を開設するなど、スギ人工林と広葉樹林の一体的な整備を実施し、効率的な作業システムの構築と健全な里山の再生を図り、意欲の復活と地域波及のモデル化を目指すものです。

助成額は、1団体の最高限度額が3千万円で、農林中金の再生事業は、平成24年度の単年度事業ですが、森林組合では、長期施業委託契約のもとに、引き続き団地内の森林整備を進めていく計画としております。

本荘由利森林組合は、組合員数や民有林の組合員森林カバー率が72%を占めるなど、全国有数の経営基盤にあるほか、計画的な森林GISの整備などにより、組合員のためのきめ細かな森林管理を目標に日々努力しています。

この度の、農林中金森林再生基金事業を契機として、多様な森林管理を提案できる森林組合を目指すとともに、組合の一層のスキルアップを図り、懸命に頑張っている姿を全国に発信してまいりたいと考えております。

今後とも、組合員の皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。



## 由利組合総合病院元院長の西村茂樹先生から “ビデオカメラ”が寄贈されました

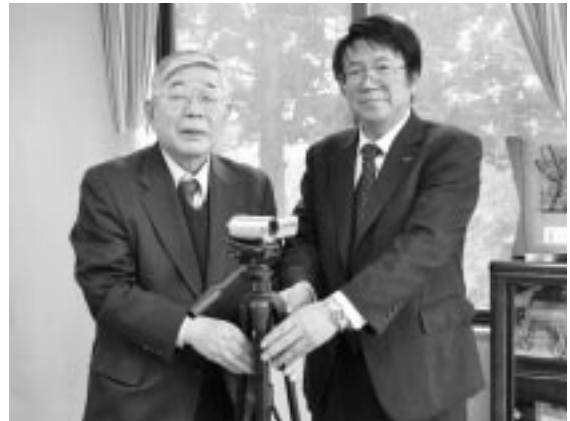
日頃から、人間ドックなど職員の健康管理面で大変お世話になり、ご厚誼をいただいている由利組合総合病院元院長の西村茂樹先生から、この度、森林組合にビデオカメラをご寄贈いただきました。

先生は、森林・林業に関心が高く、特に、森林と健康との関わりなどについて研究されておられます。また、現在、早稲田大学eスクールの4年部に在籍され、森林や環境をテーマとした多くの講義を受けられるなど、今だ、旺盛な向学心をお持ちです。

平成24年3月22日に森林組合を訪れ、小松組合長に贈呈下さいましたが、「この度の、農林中金森林再生事業の採択のお祝いとともに、今後、森林整備事業の現場などにおいて、情報収集・保存に役立てて欲しい」とお話しされました。

職員一同、有意義に活用させていただきたいと思っております。

誠にありがとうございました。



## 優良賞授賞

二月七日、八日にプラザクリプトン（秋田市）で開催された、平成二十三年度秋田県林業技術交換研修会に於いて、組合員であり林業研究会会員の阿部重助氏（東由利）が、優良賞を受賞しました。

阿部氏は所有山林を整備して「山遊庭の森」として一般開放していません。年間を通じて未就学児から高校生、大人まで多くの人々が訪れ、山林や林業に親しみ、技術や知識を学んだり、地域の交流の場となっております。今回は、その活動が認められたの受賞となりました。



阿部重助氏（一番右）

## 重点分野研究開発 プロジェクト

森林組合では県立大学、秋田工業高等専門学校などと協力しながら木材（スギ）の新たな用途開発に取り組んでいます。

このプロジェクトの背景には、県土の七十%が森林で豊富な森林資源があるにも関わらず、木材価格の下落や需要の減少、山林所有者の高齢化や関心の低下など様々な理由により、山林の手入れがなされず荒廃が進んでいる現状があります。また、酪農は穀物飼料を一〇〇%輸入に頼っていることから飼料価格の高騰する今、安価安定供給が可能な飼料が求められています。このような林業と酪農の異なる分野の課題解決のための研究開発がこのプロジェクトです。

具体的な研究内容ですが、スギ間伐材を微粉砕した後、固めてペレット状に成形したものを牛の飼料とします。木材の粉砕・製造技術の確立の研究、実際に飼料として牛に与える試験など未だ研究段階ですが、産業の活性化に繋がっていくと期待しています。

# 《補助金制度が変わります！》

【森林経営計画】を作成し認定を受けなければ補助申請が出来なくなりました。

平成24年度から補助金の支援制度が大きく変わります。

今までは、各自の事業実績に基づいて補助申請していた。



これからは、まとまりのある団地の中で計画的な作業を行い補助金の申請をする。

『下刈・除伐・枝打ち・間伐等の作業すべてです。』

制度変更に伴い、次の作業が必要となりました。

新しく【森林経営計画】の作成・認定が必要です。

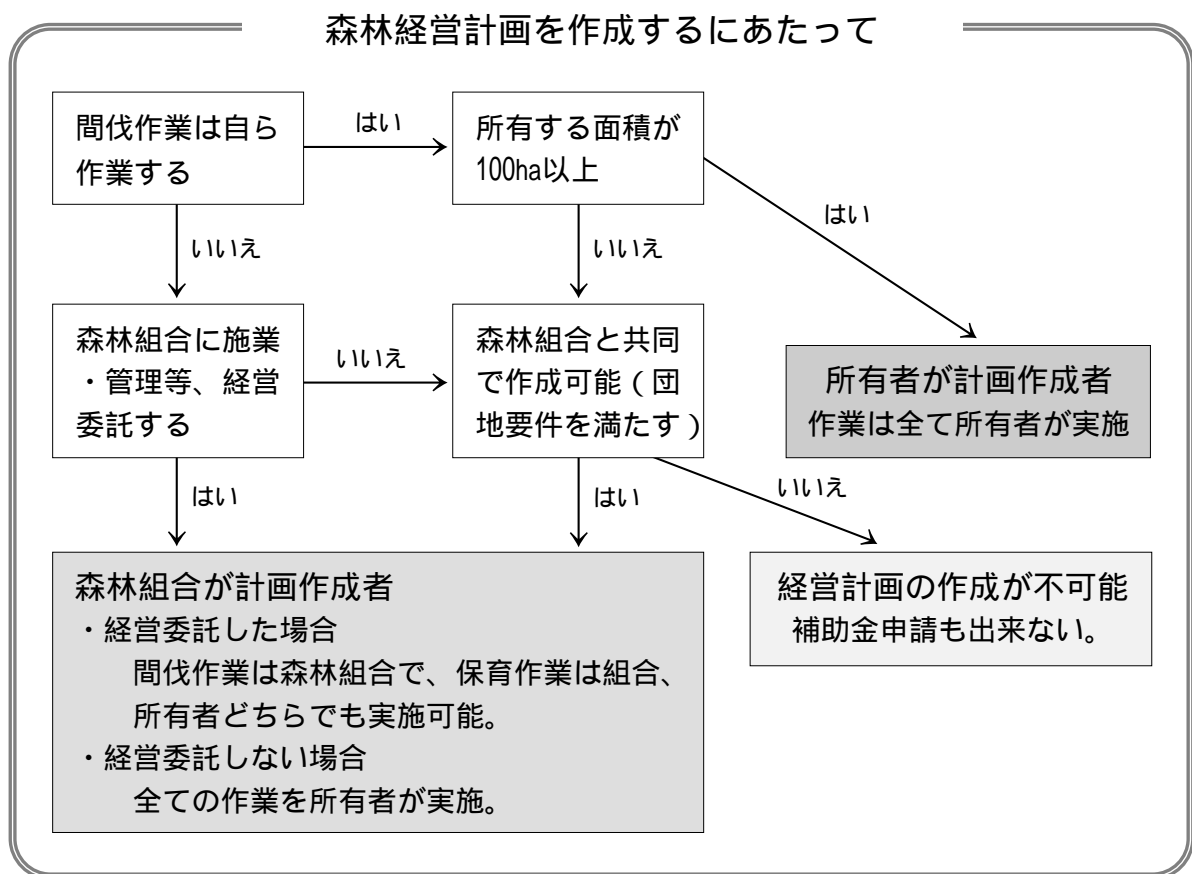
間伐をする場合

事前計画書の作成・提出が必要です。

1 団地 5 ha以上の施業実施面積が必要です。

団地内で 1 ha当り平均10m<sup>3</sup>（約36石）以上の木材搬出が必要です。

下刈や除伐などの保育作業についても、集約的な団地【森林経営計画】の中で「搬出間伐」をセットした計画書が作成できなければ、補助金の申請が出来ません。



作業が5月末までに完了する場合は、従来通り補助金の申請が出来ます。

今後、作業実施の予定がある方は、必ず各支所へご相談下さい。



## KYT(危険予知訓練)講習会



2月14日、西目シーガルで、森林組合、協力事業体に参加して、KYT(危険予知トレーニングの略)講習会が行われました。

関労働安全コンサルタントの関雅幸氏にご指導頂き、危険予知ミーティングや指差呼称などの練習を行いました。

平成22年、23年度由利管内の休業4日以上 の事故は減少しています。引き続き労働災害事故の防止に向けて講習等行っていきます。

## 行政連絡協議会

2月17日、森林組合、由利地域振興局、由利本荘市、にかほ市の担当者による行政連絡協議会がホテルアイリスで行われました。

県、市、組合それぞれの事業推進状況の報告と、これからの事業の内容、予算等について話し合いました。



## 森林の土地の所有者届出制度について

平成24年4月1日より、森林の所有者となった方は市町村長への事後届出が義務付けられます。

**対象者**：個人・法人を問わず、売買や相続、贈与、合併等により森林の土地を新たに取得した方。

**条件**：面積に関わらず届出が必要。ただし、国土利用計画法に基づく土地売買契約の届出の提出した場合は対象外。

**届出期間**：土地所有者となった日から90日以内に「事後の届出」。

**届出先**：取得した土地のある市町村長。

**届出事項**：届出書

届出者・前所有者の住所氏名、所有者となった年月日、所有権移転の原因、土地の所在地・面積・用途等の記載。

添付書類

- ・登記事項証明書(写し可)または土地売買契約書などの権利取得したことが分かる書類の写し。
- ・土地の位置を示す図面(任意図面に大まかな記入でよい)

森林所有者となった方は、立木の伐採を行う場合、市長町長に伐採及び伐採後の造林の事前届出、1ha超の林地開発を行う場合は知事の許可が必要です。

《 詳しくは、山林の存在する、市・総合支所の林務担当へお問い合わせ下さい。 》

# 木材市況情報 (平成24年)

単位：円、上段（石当り価格）  
下段 m<sup>3</sup>当り価格

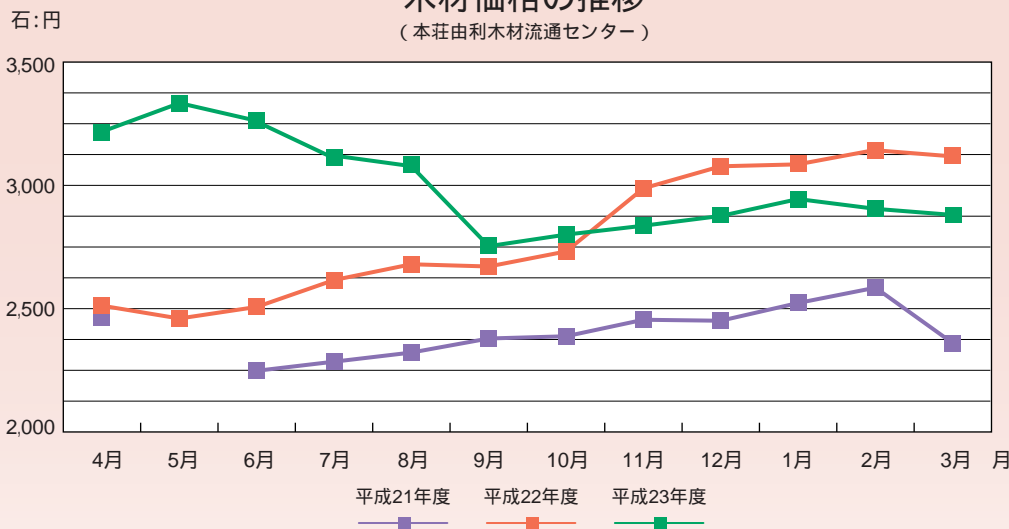
樹種	材長 m	径級 cm	2月6日			3月6日		
			本荘由利木材流通センター			本荘由利木材流通センター		
			高値	安値	平均価格	高値	安値	平均価格
スギ	3.65	16~22	(3,203) 11,531	(2,598) 9,355	(2,897) 10,431	(3,276) 11,796	(2,723) 9,806	(2,877) 10,358
		24~34	(3,450) 12,420	(3,081) 11,093	(3,379) 12,166	(3,307) 11,906	(3,058) 11,009	(3,174) 11,429
出材量・販売量・販売率			960m <sup>3</sup> (3,456石)・960m <sup>3</sup> (3,456石)・100%			779m <sup>3</sup> (2,804石)・575m <sup>3</sup> (2,070石)・73%		

2月：各経級とも万遍なく応札があり完売。

3月：材質の劣る物件に応札はないが、それ以外はまずまずの売れ行き。

## 木材価格の推移

(本荘由利木材流通センター)



長級3.65m(12尺) 径級16cm~22cm 直材

	H21年度	H22年度	H23年度
4月	2,463	2,512	3,230
5月		2,460	3,355
6月	2,248	2,507	3,263
7月	2,285	2,616	3,142
8月	2,322	2,680	3,090
9月	2,379	2,671	2,765
10月	2,388	2,732	2,793
11月	2,455	2,988	2,819
12月	2,451	3,099	2,878
1月	2,523	3,104	2,925
2月	2,585	3,173	2,897
3月	2,360	3,138	2,877

### 《ホームページが新しくなりました》

URL: <http://www.honmori.com/>

組合の概要や施設、事業情報の他、随時更新のブログを設置する等全国に本荘由利森林組合を発信していきます。

### 平成24年度 林業相談日

今年度も、三浦光喜指導員による林業相談を行います。日程は右記のとおりです。

4月	13日(金)
5月	18日(金)
6月	15日(金)

十月 組合まつり  
七、十月 各地区組合員研修  
七月 連絡員会議  
五月下旬 第十八回通常総代会

### 今後の行事予定

### 職員の異動 平成24年2月20日付

参事兼総務課長 (前参事兼加工課長) 岡部 由男  
加工課長 (前林産販売兼造林課長) 三浦 弘文  
林産販売課長 (前総務課長) 佐藤 建一  
造林課長兼本荘支所長 (前本荘支所長兼造林課長補佐) 太田 清隆